

AOI通信

静岡音楽館倶楽部情報誌
DECEMBER 2014 No.76

冬号

インタビュー

ランチタイム・コンサート

華麗なるハープの世界

篠崎史子・篠崎和子

会田捷夫 (静岡県良寛会 会長)

自由人・良寛

コンサートシリーズ2015-16

コンサートレポート ● 静岡の名手たち合格者によるコンサート



インタビュー 篠崎史子

篠崎和子

Photo by 満田聡

1月22日(木)当館のランチタイム・コンサートにご出演いただくハープ奏者の 篠崎史子さん、篠崎和子さんにお話を伺いました。

●このたびは、静岡音楽館AOIでのコンサートへのご出演をお決めいただき誠にありがとうございます。まずは、今回の公演プログラムについてお伺いいたします。ドビュッシーやフォーレなどフランスの作曲家の作品を取り上げていらっしゃるんですね。

史子さん) 2人ともフランスに留学していたことがあるのだと思います。ドビュッシーの作品はピアノの名曲中の名曲です。また、B. アンドレス、C. サルツェードは現代のハープ奏者兼作曲家で、それぞれハープのために書かれた作品です。C. サルツェードの作品は、ソロでも弾けますが、作曲家自身がデュオ・ヴァージョンも作っていて、今回はそのデュオ・ヴァージョンを演奏します。サルツェードは現代的な奏法、たとえば爪で弾くとか、共鳴板を叩くことを初めて用いた作曲家で、その後の武満やベリオに繋がっています。

和子さん) ハープのために書かれたオリジナルの作品はフランスのものが多く、自然にフランスの作品が多くなります。またドビュッシーの作品については、その色彩感がハープの音色に合っている、ハープのオリジナル作品でなくてもよく演奏します。

史子さん) ドビュッシーにはハープのための曲として、『フルート、ヴィオラとハープのためのソナタ』と、『神聖な舞曲と世俗的な舞曲』というハープ・ソロと弦楽合奏のための曲の2曲があります。ただ、ハープの独奏のための作品はドビュッシーにはありません。今回取り上げるドビュッシーのピアノのための作品は、ハープで演奏することでピアノとは一味違った、というより私たちはハープの方が曲の良さが出ると思っている作品をプログラムに入れています。

●親子でのご共演はよくされますか？

史子さん) 和子が小学校4年生の時、作曲家の青島広志さんが出演されていたテレビ番組で初めて共演しました。小型のペダル付ハープをお借りして特訓をし、和子がメロディーを、私が伴奏をしたというのが最初です。それからは、ソニーさんからの話で、高校1年生の時にクリスマス向けのCDのレコーディングをさせていただいたりしました。また、私が続けている『ハープの個展』というシリーズで、ハープ・デュオの曲を優秀な日本人作曲家に委嘱して2人で演奏することもあります。今回のように主催者から2人の演奏でという依頼を受けるのは、年に1、2回くらいだと思います。ちなみに今年は夏に軽井沢ミュージックサマースクールの講師のコンサートで共演しました。

●演奏会るとき、もしくはその準備のときに特に心がけていることはありますか？

和子さん) 演奏会の前は、楽譜をしっかり読み直しています。そうすることで、以前演奏した曲でも新たな発見がありますし、また違ったアイデアが出てきます。

史子さん) 作曲家については、本や曲目解説を読む、という程度のことは必ずしています。ただ、それ以上深く調べようとすると、今度は練習時間が無くなってしまうので、その兼ね合いが難しいです。

和子さん) 留学時代に先生から本には書いていないような裏話的なことも聞くことができたので、そういったことも頭に置きながら、演奏するようにしています。

史子さん) 私は20歳代の頃、アメリカとフランスに留学していましたが、そのとき習った先生がいずれも80歳代でした。そうすると先生から「ドビュッシーがね…」とか「ラヴェルはこんな風に言っていた」という実体験のお話を聞くことができたのでそれがなにより記憶に残っています。

●今でも先生とお会いになることはありますか？

和子さん) 大きなリサイタルがあると、必ずそのプログラムをひた通り聴いてもらいに行っています。

史子さん) 昔、L.ラスキーヌ先生が、だれでもいいから大事なコンサートの前には聴いてもらうようにしなさい、とおっしゃっていました。先生に聴いていただくことはとても大切なことです。

●ハープ奏者になろうと思ったきっかけは？

史子さん) 音楽一家に生まれた私は、当然のように何か楽器をやるものだと思い込んでいました。最初はヴァイオリンを、5才頃からピアノを、そして小学校5年生の時にアイリッシュ・ハープを勧められて始めました。ただその時は先生のお宅にハープの台数があまりなく、レッスンに行っても楽器がないということが2、3回あって、嫌になってやめてしまいました。それからちょっと時間をおいて、中学2年生の時にドッジボール大会で小指を骨折してしまい、小指を使わないハープをやることになりました。私にとってまさにこの骨折が運命の分かれ道でした。プロの音楽家になろうと思ったのも、当然のようにそうなるものだと思い込んでいたので、特定の時期は思い当たりません。そのような中でも良いときはばかりではなく、自分自身いつ辞めようかと思っていた時期もありました。そんなとき、文化庁在外派遣で師事したL.ラスキーヌ先生が、辞めるのを思いとどまらせてくれました。先生はそのときすでに80歳を過ぎていましたが、とにかく弾いている姿が美しい。テクニック云々ではなく、とにかく音が美しく綺麗で、圧倒されました。私が現代曲に傾倒していくのも、ラスキーヌ先生をドビュッシーなどの作品では超えることができないと思ったからです。

和子さん) 私は、生まれる前から家にハープがあり、ハープの音を聴き、生まれてからもそういう環境に育ってきたので、自然とハープに触れることになりました。普通はハープに出会うこともそう多くはないですね。また、私の祖父は「篠崎ヴァイオリン教則本」という教則本を出したヴァイオリンの大先生だったので、4歳の時から私も妹もいと達も全員強制的にヴァイオリンをやらされました。ただ、やらせる方は強制ではなく当たり前だと思っていたみたいです(笑)。

史子さん) そのときの和子のヴァイオリンを持つ姿が、ぜんぜん似合っていなかったのを覚えています。和子の妹はピタッと決まっていたのですが、和子は本当に似合っていませんでした。

和子さん) 結局、ヴァイオリンは2年ぐらいで辞めています。そして6歳の誕生日のときに、アイリッシュ・ハープが家にやってきました。当初は遊びのような形で触っていて、きちんと習い始めたのは小学校6年生の時です。その9月にJ.モルナール先生の還暦祝いのパーティーで、先生から「あなた、ハープをやったらいよいよ。」と言われて、ケーキについていたハープの形をしたチョコクッキーを先生が下さいました。それが真剣にハープをやり始めるきっかけでした。

史子さん) 和子はクラシック・バレエもやっていましたが、私は最初、リズム(リズム感)のためにと思っていました。それが姉妹で週4日くらい行き始めてしまい、コンクールを受けるほど本格的に取り組んでいました。《くるみ割り人形》の公演に子役で出演してテレビ放映されたこともありましたが、私はてっきりバレリーナになってくれるとばかり思っていますが、結局は本人の意思でハープを選ぶことになりました。よほどハープが好きなようですね。

●もしハープ奏者でなかったら、ご自分は何をされていたと思いますか？

和子さん) 普通の高校・大学に行って、普通にOLになっていたと思います。史子さん) 私が中学生の時は、大人になったらサラリーマンと結婚して、月賦(ローン)で買い物をし、家計簿をつける、ということをしていました。今思えば、中学生でなぜそんなことを言っていたか不思議に思います。ただ、私の父はほとんど家にいて、私が家にいるときは「3人も家にいるのになんで全く音が聞こえないんだ。」と練習をしていない私たちをよく怒っていたものですから、結婚する人は「家にいない人＝サラリーマン」が良いと思ったのかもしれませんが。

●お休みの日はどのように過ごされますか？

和子さん) 主人が映画好きで、よく映画を観に行きます。また、クラシック・バレエのオープン・クラスにも通っています。

史子さん) ハープ奏者にとって体を動かすことはとても大切です。背中をしっかりとさせるために、バレエはとてもいいと思います。

和子さん) ハープの演奏は、楽器がとても重く、足ペダルもあるので、指先から足先まで使う全身運動です。ハープ奏者でバレエもやっている人はとても多くて、私の生徒でも半分ぐらいは

バレエをやっています。

史子さん) 私は、新たに指揮の勉強を始めました。今、東京音楽大学で指揮者の広上淳一先生の聴講生になっています。ですので休みの日は、指揮やスコア・リーディングの勉強をしています。あとは、月に一度の中学生時代の友人と会食し、音楽と全く関係のない話をするのが楽しみの一つです。

●最後に、静岡の聴衆にメッセージをお願いいたします。

和子さん) 新年明けのランチタイム・コンサートということで、聴きやすいプログラムを考えました。プログラム最後の4曲は現代の作品ですが、現代奏法が入っていて視覚的にも楽しめる曲です。例えば、ハープをチューニング(調弦)するときに使うハンマーという器具で弦を叩いたりして効果音を出したりということもしますので、ハープの魅力を存分に味わっていただければと思います。

史子さん) 久しぶりの娘と2人だけのコンサートで、そのことをとても楽しみにしていますし、来年1年が明るくいい方向に進んでいければとの願いを込めて演奏したいと思います。

インタビュー中は、ときに母娘として、ときに姉妹のように楽しそうに冗談を交えながら、気さくにお話してくださいました。2015年の幕開けを、このお二人の美貌と美しい音色で癒されにきてください。皆様のご来館をお待ちしております。

聞き手：竹内啓(静岡音楽館AOI 学芸員)

ランチタイム・コンサート 篠崎史子 篠崎和子 華麗なるハープの世界

2015
1/22[木] 11:30 開演 (11:00 開場)
※12:30 終演予定

全指定¥1,800 (会員¥1,620、22歳以下¥1,000) [Pコード=216-491]

出演

篠崎史子 (ハープ)

篠崎和子 (ハープ)

曲目

F.メンデルスゾーン：歌の翼に op.34-2 (C.サルツェード 編)

G.フォーレ：子守唄 (組曲《ドリー》 op.56 より)

E.グラナドス：スペイン舞曲第5番《アンダルース》(折り) op.37-5

C.ドビュッシー：月の光 (《ベルガマスク組曲》より)

《子どもの領分》(三枝成彰 編) より

B.アンドレス：バルヴィス (数年前の広場)

C.サルツェード：〈タンゴ〉(ルンバ) 〈夜の歌〉

※このコンサートは休憩がないため、開演後は自席へのご案内ができません。
時間に余裕をもってご来場ください。



自由人・良寛

会田捷夫（静岡県良寛会会長）



© 平野富山「良寛」(1980)
静岡市蔵（静岡市美術館管理）

良寛は謎の人である。理解できぬ人だというのではない。むしろ明晰で分かりよいのだが、通常の私たちの考えや行動と比べた場合、いくつかの障害に当たるのである。当面してみておおよやと思うようなことを、平然とやってのける。例えば逸話として次のようなことが語り伝えられている。

ある人が良寛の住む“五合庵”を訪ねた時のこと。良寛は客人の来たのを喜び、傍らにあった摺鉢に水を注いで洗足をすすめた。それを見た客人は驚いた。ところが良寛は気にする様子もなく、自分のところには器としては摺鉢しかないので、それで顔も洗うし食物も洗うのですと云った。

良寛は生涯寺をもたない出家僧で、托鉢をする乞食の生活であったのだから、無物であることも納得がいく。またこの時の客人が、著名な碩学だったというから、これが只の奇話以上であることも証されるであろう。

良寛は1758年(宝暦8年)越後出雲崎の名主の長子に生れた。故あって22才の時出家して備中玉島(現在の岡山県倉敷市)の曹洞宗円通寺で修行を積み、39才の頃故郷に帰り、漂泊の後国上山の中腹にある蕤八畳の“五合庵”に住まう。晩年は体力の衰えから篤志家のすすめるままに山を下り、その庇護のもと、1831年(天保2年)74才の生涯を閉じた。その頃良寛の人徳を敬い、その詩才を恋う若い尼僧貞心と、和歌を介しての交流があったことによって遺作がまとめられ、足跡を残すこととなった。

良寛の真価は、天与の知性と鍛えられた精神から生みだされた芸術、その形象としての詩歌および人間としての存在そのものである。また偏向なき宗教思想をも加えた総合である。自己主張はなかったが、なくても十分に力をもつのであった。

世の中にまじらぬとにはあらねども
ひとり遊びぞわれはまされる

彼は歌にこう自らを表現したが、これには彼の生き方と、幸福感が詰められている。その幸福は、物欲や権勢とは無縁の、永遠に失うことのないものであった。師にもならず、弟子にも相応ない学徒として、人に説くなどもなかったが、批判精神はもち続けていた。戒めの語録である“戒語”も、他人に求めるより自分に対してのものであったのかも知れない。現実の良寛を知らぬ者がいろいろと述べたてることには些か抵抗を感じている。出家の経験をもたぬ者が真面目に良寛を云い表わし得るとは思わない。私にとって良寛とは何だろうか。夢の中の良寛とではあるが、交わり遊ぶことによって明日を生きてみようということになろうか。



語りと箏歌、謡・舞と聲明による
良寛によせて、今。
3/11 [水] 19:00 開演 (18:30 開場)
全指定¥3,000 (会員¥2,700、22歳以下¥1,000) [Pコード=216-540]
出演 山本東次郎 (語り) 鈴木真為 (歌、箏) 観世鉄之丞 (謡、舞) 西陽子 (箏) 声明の会・千年の聲
曲目 吉川和夫：箏歌《手毬 ～ 月の兎》—良寛の長歌による— 寺嶋陸也：聲明《無一物の生》—良寛によせて—



CONCERT REPORT コンサートレポート

9/13(土) 第19回「静岡の名手たち」 オーディション合格者によるコンサート

新進音楽家を発掘、育成を目的に続く「静岡の名手たち」オーディションは、今年で19回目。このコンサートは、今年のオーディションで選ばれた8組のアーティストが演奏を披露する晴れの日だ。また、今年設立20周年を迎えた静岡市文化振興財団が文化施設・生涯学習施設と連携して実施されている記念事業「キニナルスキニナル」プロジェクトの1プログラムとしても注目を集めた。さらに、歴代のオーディション合格者たちが集結した「静岡の名手たち」アンサンブルが船出する記念すべき年でもある。

19年も続くというのに、これまで「静岡の名手たち」の演奏に触れる機会がなかった。会場内を見回すと、中高生や小さな子供連れの聴衆も見受けられる。漫然と“発表会”的コンサートではなどと頭をよぎる。音楽はまったくの素人とはいえ、不甲斐ない。一番手の青島由佳さんが演奏を始めた瞬間、不埒な考えは吹き飛んだ。それから、7組が次々と登場、演奏に引き込まれ、終るたびにため息、拍手を繰り返し、あっという間に時間が過ぎていた。ピアノ、箏、フラウト・トラヴェルソ、クラリネット、サクソフォンと、楽器が次々変わるにつれ、それぞれの個性が次々繰り出され、たっぷりと楽しめるコンサートになった。

演奏された楽曲は、各自がオーディションにエントリーした曲。総じて難易度が高いように思える。やはり、技術を披露するため、難しい曲を選ぶのだろうか。演奏の素晴らしさを思えば、多くの時間を練習に費やし、演奏家への夢を切り開くため、努力を重ねた成果に違いない。ちなみに、この日のコンサート・プログラムは、各々が自分の楽曲紹介文を書いている。文章の趣が、それぞれ違い、演奏ともマッチして、曲間に読ませていただき興味深かった。

ところで、AOIでは、世界的な名演奏家も、彼らのような若手も、バックステージで全く同じようにアテンドするのだそう。恭しく出迎えられ緊張しないのだろうか。もちろん、緊張しても、実力を出し切れる技術と集中力があるからこそ「静岡の名手たち」なのだ。演奏中はともかく、袖から舞台中央へ進み、演奏を始めるまでの間のとり方は、それぞれ緊張感が漂い、こちら息をのむ。そして音の渦の中へ。演奏が終ると、深々頭を下げたり、一息ついて少し微笑んだり、華やかな笑顔だったり、趣は違えど皆が、やり切った清々しさと誇らしい表情を浮かべていた。まだまだ若い彼ら、どこまで成長して、どこまで羽ばたいていくのだろう。次に、いつ演奏を聴けるのか楽しみでならない。

今回、静岡県立美術館で演奏できるロダン賞はピアノの森角さん、箏の渡邊さん、静岡交響楽団と共演できるコンチェルト賞は、ピアノの平井さんが射止めた。彼らだけでなく「静岡の名手たち」として活躍の場が広がり、演奏を耳にする機会も増えるだろう。

ほんだゆかり



撮影：日岡典光

【プログラム】

青島由佳
J.M.オートテール：組曲第3番 ト長調 op.2-3
I. Allemande (La Cascade de St.Cloud)
II. Sarabande (La Guimon)
III. Courante (L'Indifferente)
V. Menuete (Le Mignon)
VI. Gigue (L'Italienne)

平野有紗
F.リスト：3つの演奏会用練習曲 S.144 より
第2曲《軽やかさ》へ短調
献呈 S.566

川口渚央

P.M.デュボワ：クラリネット狂詩曲

森角敦

S.ラフマニノフ：楽興の時 op.16 より 第1番 変ロ短調

前奏曲 op.23 より 第5番 ト短調

渡邊勝代

沢井忠夫：讃歌

小澤実々子

H.デュティユー：ピアノ・ソナタ 第1楽章

廣瀬明日香

J.イベール：アルト・サクソフォンと11の楽器のための室内小協奏曲

平井陽子

A.ベルク：ピアノ・ソナタ ロ短調 op.1

ご家族、ご友人にぜひおすすめください！

静岡音楽館倶楽部

あなたもAOIで、感動のひとときを味わってみませんか



静岡音楽館倶楽部とは？

AOIで繰り広げられる多彩なプログラムをより身近に、より手軽にお楽しみいただけるのが“静岡音楽館倶楽部”です。年度会費(4月1日～3月31日)2,000円。1月～3月までは、下記のとおり、さらにお得なキャンペーンを実施します。お知り合いの方に、ぜひご紹介ください。

チケット10%OFFをはじめこんなにおトクな特典が！

- 1 コンサートシリーズでご利用いただける1,000円割引券2枚プレゼント(5月下旬発送予定)
- 2 チケット10%OFF 1公演2枚まで10%OFFでお求めいただけます！
- 3 チケット先行発売 一般発売に先駆け、いち早くチケットをお求めいただけます！
- 4 AOI公演情報無料郵送サービス
- 5 チケット無料郵送サービス
- 6 ドリンクチケットプレゼント
- 7 ピアニストのためのアンサンブル講座「修了記念コンサート」へ無料ご招待(年1回)
- 8 リザーブシートサービス！シリーズ全公演のチケットをお求めいただくと、いつもお気に入りの席で鑑賞できます！
- 9 AOI以外でも特典が…！

静岡市美術館・ポーラ美術館・MOA美術館入館料割引
静岡市美術館・静岡市立芹沢鈺介美術館の企画展チケットを抽選でプレゼント
ハッピ岳高原音楽堂(特別割引)、TSUTAYAすみや静岡本店(CD、DVD等割引)
※これらの特典は静岡音楽館AOIが主催する公演に限りです。
※割引・先行発売は静岡音楽館AOIでのみお取り扱いします。

ご入会方法

資料請求

◎お問合せ 静岡音楽館AOI TEL.(054)251-2200

◎AOIホームページ「お問合せフォーム」より、その旨をお知らせください。

今すぐ申し込みたい！

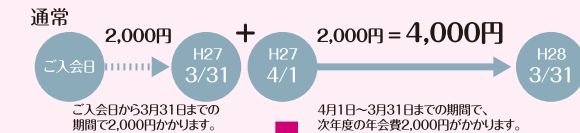
ご入会には、所定の入会申込用紙へのご記入が必要です。

- ①初年度会費(2,000円)
 - ②会費引落とし口座番号のわかるもの
 - ③金融機関届出印
- の3点をご持参の上、ご来館ください。

平成27年度 静岡音楽館倶楽部ご入会キャンペーン

平成27年1月6日(火)～平成27年3月31日(火) ※1月6日より受付を開始いたします。

特典1 会員期間が最大3カ月プラスに！！



特典2 新規ご入会者先着60名様に 静岡市美術館「ロイヤル・アカデミー展 イギリス美術の華麗な150年」 (2014年12月6日(土)～2015年1月25日(日))または 「没後100年 小林清親展」 (2015年2月7日(土)～3月22日(日)) いずれかの招待券をプレゼント

※各30名様をご招待。招待券はなくなり次第終了とさせていただきます。



ジョン・エヴァレット・ミレイ(ペラスカスの思い出)
1888年 ロイヤル・アカデミー・オブ・アーツ
©Royal Academy of Arts, London ; Photographer : John Hammond



小林清親(上野東照宮積雪之図) 1879年

特典3 ドリンクチケットプレゼント

AOIが主催する公演の際に8階バーカウンターでご利用いただけます。

CONCERT SERIES 2015-16



静岡音楽館AOI
20th
ANNIVERSARY

静岡音楽館AOIは1995年5月に開館しました。

おかげさまでこの春20周年を迎えます。

そこで、コンサートシリーズ2015-16は開館20周年にふさわしく、
様々なプログラムをご用意いたしました。皆さまのお越しをお待ちしています。

CONCERT SERIES 2015-16 2016 第1期 2/21(土)より発売
静岡音楽館倶楽部会員先行発売 2/14(土)より

5/14(木) 19:00 開演 (18:30 開場)

オーケストラを聴こう

レイフ・オヴェ・アンズネス(指揮、ピアノ)

マーラー・チェンバー・オーケストラ

全指定¥6,000(会員¥5,400、22歳以下¥1,000) [Pコード=243-837]

曲目 L.v.ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第2番 変ロ長調 op.19

第3番 ハ短調 op.37

第4番 ト長調 op.58



© Sonja Werner

6/6(土) 15:00 開演 (14:30 開場)

子どものためのコンサート

親子で楽しむ!

小曽根真 子どものための

ジャズ・ライヴ

全指定¥3,000(会員¥2,700、22歳以下¥1,000) 親子券¥3,500

※未就学児もご入場いただけます。 [Pコード=243-839]

出演 小曽根真(ピアノ)



© Yow Kobayashi Yamada

6/28(日) 15:00 開演 (14:15 開場)

ふじのくにせいかい演劇祭2015 協力公演

ブラヴォー・アンコール!

間宮芳生の声Ⅰ オペラ《ボボイ》

全指定¥5,000(会員¥4,500、22歳以下¥1,000) [Pコード=243-841]

原作 倉橋由美子

～14:30より、作曲者・間宮芳生と指揮者・寺嶋隆也による

プレ・コンサートトーク～(本公演のチケットが必要です)

演出 宮城聡(SPAC・静岡県舞台芸術センター芸術総監督、静岡音楽館AOI市民会議委員)

出演 入江舞 / 吉川真澄(ソプラノ)、ボボイ / 上杉清仁(カウンターテナー)、

聡子 / 波多野睦美(メゾソプラノ)、佐伯 / 大槻孝志(テノール)、

剛・記者 / 河野克典(バリトン)、入江晃 / 清水寛二(能楽師)、劇団SPAC

寺嶋隆也(指揮)、東京シンフォニエッタ、猪股義周(シンセサイザー)

曲目 オペラ《ボボイ》(2009年度静岡音楽館AOI委嘱作品)



7/25(土) 15:00 開演 (14:30 開場)
ブラジル音楽の世界
～アントニオ・カルロス・ジョビンとその周辺～

全指定¥4,000(会員¥3,600、22歳以下¥1,000) [Pコード=243-842]

出演 ショーロ・クラブ

[笹子重治(アコースティック・ギター)、秋岡政(バンドリ)、

沢田穠治(コントラバス)]

アン・サリー(ヴォーカル)、渡辺亮(パーカッション)、福田進一(ギター)



8/9(日) 12:00 開演 (11:30 開場)

第5回アマチュア・アンサンプルの日♪

無料(申込不要)

AOIのオープン・デイ

8/8(土) 静岡音楽館AOI・ホール(8階)、講堂(7階)、ロビーなど

CONCERT SERIES 2015-16 2015 第2期 6/20(土)より発売
静岡音楽館倶楽部会員先行発売 6/13(土)より

9/12(土) 18:00 開演 (17:30 開場)

第20回「静岡の名手たち」

オーディション合格者によるコンサート

全自由¥1,800(会員¥1,620、22歳以下¥1,000) [Pコード=243-845]



静岡市文化振興財団

9/26(土) 18:00 開演 (17:30 開場)

[静岡室内楽フェスティバル2015]

ギター・カルテット 福田進一と仲間たち

全指定¥5,000(会員¥4,500、22歳以下¥1,000) [Pコード=243-846]

出演 福田進一、大萩康司、鈴木大介、朴葵姫(ギター)

曲目 M.ラヴェル：亡き王女のためのパヴァーヌ

G.フォーレ：組曲《ドリー》op.56

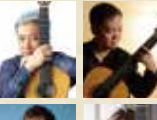
G.ビゼー：《カルメン組曲》より

M.ファリャ：組曲《三角帽子》より

組曲《恋は魔術師》より

A.ボロディン：歌劇《イーゴリ公》より

《だったん人の踊り》ほか



© Photo by Ryotaro Horiuchi



© Matsunao Kokubo

10/3(土) 18:00 開演 (17:30 開場)

ピーター・ゼルキン ピアノ・リサイタル

全指定¥5,000(会員¥4,500、22歳以下¥1,000) [Pコード=243-847]

曲目 C.ヴォリネン：ジョスカンの《アヴェ・クリステ》

J.P.スウェーリング：カプリッチョ

J.ブル：ド、レ、ミ、ファ、ソ、ラ

ジグ

R.シューマン：森の情景 op.82

J.ブラームス：主題と変奏 二短調 op.18b

ヘンデルの主題による

変奏曲とフーガ op.24



© Kathy Chapman

10/14(水) 19:00 開演 (18:30 開場)

[静岡室内楽フェスティバル2015]

ハンスイェルク・シェレンベルガー×

モーリス・ブルグ

オーボエの帝王2人の競演によるバロック音楽のタベ

全指定¥5,000(会員¥4,500、22歳以下¥1,000) [Pコード=243-848]

出演 ハンスイェルク・シェレンベルガー、モーリス・ブルグ(オーボエ)、

栗形亜樹子(チェンバロ)、櫻井茂(ヴァイオリン・ダ・ガンバ、コントラバス)

曲目 G.F.ヘンデル：トリオ・ソナタ第2番 ト短調 op.2-2 HWV387

P.ヴァスカス：《感触》～独奏オーボエのための

J.D.ゼンカ：トリオ・ソナタ第6番 ハ短調 ZWV 181-6

K.ターナー：2つのオーボエのためのソナタ

M.マレ：《聖ジュヌヴィエーヴ・デュ・モン教会の鐘》

～オーボエ、コーラングレと通奏低音のための～

F.クーブラン：組曲集《諸国の人々》より(神聖ローマ帝国の人々)



参加者募集! いずれも年1回の募集です。
お見逃しなく。

第20回「静岡の名手たち」オーディション

静岡音楽館AOIでは、新進音楽家の発掘と育成のためにオーディションを開催します。合格者は、2015年9月12日(土)「静岡の名手たち」オーディション合格者によるコンサートへの出演が決定しているほか、今後(公財)静岡市文化振興財団が主催するコンサートへの出演などの機会に恵まれます。

日程及び部門 / 2015年6月13日(土) 声楽部門・打楽器楽部門(順不同)

2015年6月14日(日) 弦楽器部門・アンサンブル部門(順不同)

審査員 / 野平一郎(審査員長)、福田進一、松原勝也、大倉由紀枝、

佐久間由美子、松倉利之

募集定数 / 150組

参加料 / 1組 ¥3,500

申込締切 / 2015年4月12日(日) 必着

第10期

ピアニストのためのアンサンブル講座(ピアノ伴奏法講座)

音楽的・技術的指導はもちろんのこと、楽曲分析や楽器奏者の視点にたった講義、さらにはピアノという楽器をよりよく知るために調律師によるお話しまじえるなど実践と理論を同時に学ぶことができ、毎年多くの応募がある全国的にも貴重な講座です。意欲的なピアニストのご応募をお待ちしています。

講師 / 野平一郎(作曲家、ピアニスト、静岡音楽館AOI芸術監督)

漆原啓子(ヴァイオリン奏者)、向山佳絵子(チェロ奏者)

日程 / 2015①7/11(土)、②12(日)、③8/1(土)、④2(日)、⑤10/17(土)、⑥18(日)、

⑦11/22(日)、⑧23(月・祝)、⑨12/26(土)、⑩27(日)

①、②はチェロ、③、④はヴァイオリン、⑤～⑧はトリオ、⑨は両者、⑩は修了記念コンサートを開催予定。

会場 / 静岡音楽館AOI・ホール(8階)、講堂(7階)

受講料 / ¥150,000

申込締切 / 2015年4月19日(日) 必着

聴講生随時募集!

聴講料 / 一般: 奇数回 ¥2,000 偶数回 ¥3,000 (第10回を除く)、22歳以下 ¥1,000 *1日有効
お得な10回通し券もあります。一般 ¥20,000、22歳以下 ¥1,000

10/24(土) 18:00 開演 (17:30 開場) *20:20 終演予定

[静岡室内楽フェスティバル2015]

J.S.バッハ：ブランデンブルク協奏曲 全曲

全指定¥5,000(会員¥4,500、22歳以下¥1,000) [Pコード=243-849]

出演 野平一郎(指揮、チェンバロ)、佐久間由美子、中川佳子(フルート)、

古部賢一、高山郁子、戸田智子(オーボエ)、岡本正之(ファゴット)、

吉永雅人、松嶋千絵(ホルン)、高橋敦(トランペット)、

水谷晃、三上亮、依田真宣、西川茉莉奈、戸上真里、篠原智子、

猶井悠樹(ヴァイオリン)、鈴木康浩、大島亮、松井直之(ヴィオラ)、

北本秀樹、長谷部一郎、森山涼介(チェロ)、

吉田秀(コントラバス)、鈴木優人(チェンバロ)

曲目 J.S.バッハ：ブランデンブルク協奏曲第1番 ヘ長調 BWV1046

第2番 ヘ長調 BWV1047

第3番 ト長調 BWV1048

第4番 ト長調 BWV1049

第5番 ニ長調 BWV1050

第6番 変ロ長調 BWV1051



11/6(金) 19:00 開演 (18:30 開場)

[静岡室内楽フェスティバル2015]

ロシア民族楽器四重奏団モスクワ・クアルテット

全指定¥3,500(会員¥3,150、22歳以下¥1,000) [Pコード=243-850]

出演 アレクサンドル・ツイガンコフ(ドムラ)、ヴァレリー・ザジエギン(バラライカ)、

インナ・シェフチェンコ(ピアノ、グースリ)、ラリーサ・ゴドリブ(ピアノ)

曲目 S.ラフマニノフ：《幻想的小品集》op.3 より 第1曲《エレジー》

イタリアン・ポルカ

A.ボロディン：歌劇《イーゴリ公》より《だったん人の踊り》

D.ミヨー：《スカラムーシュ》op.165b より《ブラジリア》ほか



11/15(日) 15:00 開演 (14:30 開場)

[静岡室内楽フェスティバル2015]

AOI・レジデンス・クアルテット

全指定¥3,500(会員¥3,150、22歳以下¥1,000) [Pコード=243-852]

出演 AOI・レジデンス・クアルテット

[松原勝也、小林美恵(ヴァイオリン)、川本嘉子(ヴィオラ)、河野文昭(チェロ)]

曲目 D.ショスタコーヴィチ：弦楽四重奏曲第1番 ハ長調 op.49

野平一郎：弦楽四重奏曲第5番(静岡音楽館AOI委嘱作品)

L.v.ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第1番 ヘ長調 op.18-1



AOI・レジデンス・クアルテット in 東京

11/14(土) 18:00 開演 (17:30 開場) 上野学園 石橋メモリアルホール

講演会「弦楽四重奏の楽しみ方」

11/15(日) 13:00～14:30 静岡音楽館AOI・講堂(7階)

おはなし：平野昭(慶応義塾大学文学部教授) 無料(要申込)

11/20(金) 19:00 開演 (18:30 開場)

望月哲也 テノール・リサイタル

～オペラ・アリアのタベ～

全指定¥3,000(会員¥2,700、22歳以下¥1,000)

[Pコード=243-853]

出演 望月哲也(テノール)、多田聡子(ピアノ)

曲目 G.ロッシニ：《饗宴》《踊り》(《音楽の夜会》より)

G.ドニゼッティ：歌劇《愛の妙薬》より《人知れぬ涙》

G.プッチーニ：歌劇《トスカ》より《妙なる調和》

R.ヴァーグナー：楽劇《ワルキューレ》より《冬の嵐は遠く過ぎ去り》

楽劇《ローエングリン》より《運かな国に(名乗りの歌)》ほか



© Kohel Take

CONCERT SERIES 2015-16 2016 第3期 10/17(土)より発売
静岡音楽館倶楽部会員先行発売 10/10(土)より

2016年

1/10(日) 14:00 開演 (13:30 開場)

オーケストラを聴こう

ブラームス：交響曲全集Ⅰ

全指定¥6,000(会員¥5,400、22歳以下¥1,000)

[Pコード=243-854]

出演 飯森範親(指揮)、堀米ゆず子(ヴァイオリン)、東京交響楽団

曲目 J.ブラームス：大学祝典序曲 ハ短調 op.80

ヴァイオリン 協奏曲 ニ長調 op.77

交響曲第3番 ヘ長調 op.90



© Yuki Hasumoto



© T. Okura

1/30(土) 15:00 開演 (14:30 開場) *17:20 終演予定

間宮芳生の声Ⅱ

白い風、夜の歌

アメリカ・インディアン神話による

全指定¥3,500(会員¥3,150、22歳以下¥1,000) [Pコード=243-855]

出演 *石川高(吹物)、*西山まりえ(弾物：ゴシックハープ)、*塚谷水無子(オルガン)、

*高田みどり(打物)、*波多野睦美(呪文)、*宮内康乃(4つの声(つむぎね))

**清水寛二(シテ)、鶴澤久(ワキ)、西村高夫、柴田稔、谷本健吾(地謡)、

**松倉利之、和田光世、石崎陽子(パーカッション) ほか

曲目 藤枝守：夜の歌(静岡音楽館AOIバージョン)*

間宮芳生：白い風ニルチツイ・リガイが通る道(国立劇場委嘱作品)**

2/11(木・祝) 15:00 開演 (14:30 開場)

びわ湖ホール声楽アンサンブル

～日本合唱音楽名曲選～

全指定¥3,500(会員¥3,150、22歳以下¥1,000) [Pコード=243-856]

出演 沼尻竜典(指揮)、びわ湖ホール声楽アンサンブル、渡辺治子(ピアノ)

曲目 廣瀬量平：混声合唱組曲《海の詩》

三善晃：女声合唱のための《3つの抒情》

寺嶋隆也 編：混声合唱のための宮崎駿アニメ名曲集《さくらんぼの実る頃》

湯山昭：混声合唱とピアノのためのバラード《コタンの歌》

3/13(日) 15:00 開演 (14:30 開場) *17:30 終演予定

国指定重要無形民俗文化財

岩手・宮古の黒森神楽

全指定¥3,500(会員¥3,150、22歳以下¥1,000) [Pコード=439-824]

出演 黒森神楽保存会

曲目 黒森神楽より《打ち鳴らし》《清祓》《松迎》《山の神舞》《恵比寿舞》

《シットギ獅子》

3/13(日) 11:00より 静岡駅北口駅前地下広場(予定) 無料(申込不要)

講演会「東北再生の道」

3/13(日) 13:00～14:30 静岡音楽館AOI・講堂(7階)

おはなし：松本文雄(黒森神楽保存会 神楽衆代表)

聞き手：田村博巳(演出家、国立劇場制作部長、静岡音楽館AOI企画会議委員)

無料(要申込)



第5回アマチュア・アンサンプルの日♪

参加者募集!

静岡音楽館AOIはアマチュアのアンサンブルを応援します。全24組のアンサンブル団体が構成されるコンサート「アマチュア・アン



静岡・音楽館×科学館×美術館 共同事業

チケットでスマイル

Ticket de Smile

加盟店のご紹介

ぜひご利用ください。Ticket de Smile 加盟店は静岡街中に57店舗！

※チケット記載の日付(期間)に限り1回ご利用いただけます。
※チケットを提示されたご本人さまのみ有効です
(店舗によって異なる場合があります)。



フライドポテト
プレゼント



おすすめ

- ヒューガルデンホワイト(400ml).....¥930(税込)
- スベアリップ(1本).....¥400(税込)

「mare」とはイタリア語で「海」のこと。女性ひとりでも気軽に立ち寄れる雰囲気は、マスターの人柄と豊富な知識から提供されるカクテルが醸し出すのかもしれない。豊富なドリンクメニューのほか、「おつまり」こと、おつまみメニューも充実しています。静岡市民文化会館からも近いので、コンサートや観劇のあとに気軽に立ち寄りください。

Cafe&Bar mare(マーレ)

TEL.054-260-4673

http://mare4673.eshizuoka.jp/

静岡市葵区鷹匠3-11-3 1F

営業時間／火～木12:00～15:00、19:00～24:00
金18:30～24:00、土18:30～24:00
日12:00～18:00

おすすめ

- 季節のフルーツカクテル.....¥1,200(税別)
- ニンジンサラダ.....¥400(税別)
- ペンネゴルゴンゾーラ.....¥800(税別)



生ビール
またはデザート
サービス



戸崎文葉氏 静岡市芸術文化奨励賞受賞

この度、元・静岡音楽館AOI市民会議員で「子どものための音楽ひろば」で講師をつとめてくださっている戸崎文葉氏が平成26年度静岡市芸術文化奨励賞を受賞されました。おめでとうございます。

音

楽を通してみなさんが交流している様子が目に浮かびました。いろんな楽器、いろんな演奏曲目があって楽しいです。また来年も来たいです。(11/3 第4回 アマチュア・アンサンブルの日♪ ご来場者より)

ご来場、まことにありがとうございました。「アマチュア・アンサンブルの日♪」は2011年度より開催している「静岡室内楽フェスティバル」の中心となる催しで、4回目を迎えました。おかげさまで回を重ねるごとに楽しみにして下さる方も増えてきて、嬉しい限りです。

来年度は、これまでより少し早く **8月9日(日)**に開催予定です。どうぞご期待ください。



静岡音楽館倶楽部会員の皆さまへ

お名前、ご連絡先、銀行口座等、ご登録内容に変更が生じた場合は、速やかに下記までご連絡ください。なお、平成26年度をもって退会をご希望のかたは、平成27年2月末日までに、静岡音楽館倶楽部事務局へ退会届をご提出ください。ご提出のない場合は自動更新となりますので予めご了承ください。

静岡音楽館倶楽部 法人会員 (2014年11月末現在) 50名前

- (株)アオイテック
- (株)タミヤ
- (株)SBSプロモーション
- (株)戸田書店
- かわした歯科クリニック
- (有)丸吉事務機
- コカ・コーラ イーストジャパン(株)
- 三菱電機(株)静岡製作所
- (株)サンタモンコーポレーション
- (株)メディア・ミックス静岡
- 静岡ターミナルホテル(株)

コンサートシリーズ2014-15

主 催 静岡音楽館AOI 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団

特別協賛 静岡信用金庫

協 賛 アイワ不動産 HARVEST HOMES

コカ・コーラ イーストジャパン株式会社

ホテル センチュリー 静岡 ANSHINDO

次のことを予めご了承の上、チケットをお求めください。
皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

- * 価格は税込です。
- * 都合により内容を変更する場合があります。
- * お客様のご都合によるチケット代金の返金、座席の変更は致しかねます。
- * 場内での飲食、写真撮影、録音、録画は固くお断りいたします。
- * 携帯電話、アラーム付時計等の使用はご遠慮ください。
- * 他のお客様の鑑賞の妨げとなる行為は固くお断りいたします。
- * 静岡音楽館AOIは、施設の構造上、会場準備が整わない状態(開場時間前)で、お客様を8階ホールへご案内することができないため、通常エレベーターは7階止になっております。開場時間になるまで1階エレベーター前か、7階ロビーでお待ちください(ただし、1階エレベーター前でお待ちいただいたお客様を優先してご案内いたします)。
- * 静岡音楽館AOIが主催するコンサート(一部を除く)では、未就学児は入場いただけません。



託児サービス(AOIの主催事業に限り)
要事前予約(1週間前まで)・託児料:1人¥1,000
すわん TEL.054-255-5377(9:00~21:00)
留守番電話の場合は、お名前・お電話番号を録音してください。



月曜日休館(ただし祝日開館、翌日休館) 9:00~21:30開館
〒420-0851 静岡市葵区黒金町1番地の9

お 問 合 せ

054-251-2200

